

平成 23 年 3 月 17 日
国土交通省河川局

東北地方太平洋沖地震への緊急対応
～河川維持流量の一部の水力発電への利用について～

これまで、東京電力(4発電所)と JR 東日本(1発電所)に対し、緊急暫定的に河川からの取水又は取水増を認めてきました。今回、新たに信濃川水系千曲川等における東京電力の10発電所について、以下のとおり、緊急暫定的に河川維持流量を減量し、河川からの取水量を増加することを認めました。

1. 措置内容

別紙の東京電力の10発電所について、河川維持流量を減量し、その分を水力発電のための取水量の増加にあてることを認めました。

これにより、10発電所の合計で約6千kw(約2千世帯分に相当)の発電出力を増加することが可能となり、これまでに措置したものと合わせ約46万7千kw(約15万5千世帯分に相当)の発電出力を増加することが可能となります。

2. 期間

本年3月16日から4月30日まで

問合せ先					
河川局水	政 課	水利調整室長	笹川 敬	代表 03-5253-8111	内線 35251
				直通 03-5253-8441	
	河川環境課	流水管理室長	岡積敏雄	代表 03-5253-8111	内線 35471
				直通 03-5253-8449	

別紙

発電所	水系名	河川名	取水口名	最大取水量 (取水口毎)	維持流量	減量後の 流量	最大使用 水量	見込まれる 発電出力の 増加
湯川	信濃川	梓川等	本取水口	9.00m ³ /s	0.023m ³ /s	0.010m ³ /s	9.00m ³ /s	約1250kw
			犀川	5.74m ³ /s	0.775m ³ /s	0.143m ³ /s		
沢渡	信濃川	梓川等	沢渡	13.69m ³ /s	0.516m ³ /s	0.110m ³ /s	14.69m ³ /s	約120kw
			霞沢川	1.00m ³ /s	0.051m ³ /s	0.025m ³ /s		
高瀬川第一	信濃川	高瀬川	本取水口	13.63m ³ /s	0.377m ³ /s	0.100m ³ /s	13.63m ³ /s	約70kw
箕輪	信濃川	千曲川	海尻	9.74m ³ /s	0.898m ³ /s	0.450m ³ /s	9.74m ³ /s	約240kw
土村第一	信濃川	千曲川	八那池	11.13m ³ /s	0.945m ³ /s	0.473m ³ /s	11.13m ³ /s	約550kw
土村第三	信濃川	千曲川等	相木川	2.78m ³ /s	0.124m ³ /s	0.062m ³ /s	13.91m ³ /s	約80kw
穂積	信濃川	千曲川	穂積	13.91m ³ /s	1.562m ³ /s	0.781m ³ /s	16.00m ³ /s	約640kw
小諸	信濃川	千曲川等	今井	22.30m ³ /s	2.749m ³ /s	1.375m ³ /s	27.80m ³ /s	約1000kw
			湯川	2.78m ³ /s	0.555m ³ /s	0.278m ³ /s		
			皿掛沢	0.139m ³ /s	0.009m ³ /s	0.005m ³ /s		
			矢田沢	0.111m ³ /s	0.003m ³ /s	0.002m ³ /s		
			線矢川	0.418m ³ /s	0.114m ³ /s	0.057m ³ /s		
島川原	信濃川	千曲川等	西浦	8.35m ³ /s	4.004m ³ /s	2.002m ³ /s	33.40m ³ /s	約1910kw
			鹿曲川	2.23m ³ /s	0.414m ³ /s	0.207m ³ /s		
塩川	信濃川	千曲川	羽毛山	38.20m ³ /s	0.700m ³ /s (自主放流分含む)	0.350m ³ /s	38.20m ³ /s	約70kw
							合計	約5930kw